



広報 **あくね**

阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数	
(2月1日現在)	
人 口	29,850(+1)
男	13,930(+4)
女	15,920(-3)
世帯数	9,750(+7)



長島の登り坂、校歌を歌い元気歩く大川小の子どもたち(午前2時30分)

ねむかったが、最後の力を
ふりしぼり、行人岳を登りきった。

「やったあ」と思った……ライオンズクラブ、
「行人岳詣り夜間歩行大会」

大川小六年 大田 早苗
駅前を出発した時は、どなりの人としやべりながら歩いてきたのに、六キロぐらい歩くと、もう、足が地面につくたびに「ジーン、ジーン」といたみがあった。それでもがんばって歩き、一回目の休けいは、本当にうれしくてとても助かった。その時もらった水砂糖は、まるで「天からのおめぐみ」のようだった。

それからまた歩き、黒の瀬戸大橋にきた。八百十一歩の長い橋だった。「まだか、あと何キロか」とつぶやくように歩き続けた。足がぼろのようになり、半分はねむり、無意識ながらも坂道を歩いていた。「もうだめだ」と半分あきらめていた。その時、「あと六百メートル」という声があった。最後の力をふりしぼり行人岳を登りきった。「やったあ」と思った。
(八・九に特集記事)

2月号



われらおとな

平服成人式

「一応の前進」

232人のうち99人平服……………43%
(女子)



「晴れ着」「平服」「みんな仲間。」

成人式は晴れ着がよいか平服がよいか……ホットな論議を呼び、市民の関心を集めていた阿久根市の成人式は、一月五日市の中央公民館で行われ、四百三十一人が参加。女性出席者二百三十二人のうち、晴れ着が百三十三人、平服が九十九人と、平服の参加者が約半数に達し、平服参加を進めていた新生活運動推進協議会では「運動を市民の皆さんが理解していただき一応の前進」と受けとめ、今後さらに平服参加の成人式実現へ向け、引き続き運動を進めていくつもりとしています。成人式の平服問題にスポットを当ててみました。

「一生に一度の成人式だから」……晴れ着組
「お金は有意義に使うわ」……平服組

今年の阿久根市の成人式参加者は男子二百九十三人、女子二百七十八人、合わせて五百七十一人で、このうち成人式に参加したのは男子百九十九人、女子二百三十二人、女子のうち晴れ着は百三十三人の五七%、平服は九十九人の四三%でした。

会場でそれぞれ「なぜ晴れ着、平服で参加しましたか」について成人者に伺ってみました。晴れ着での参加者は「一生に一度の成人式、個人の思い通りにさせたら」「女の子はやはり着物が一番美しい。一度着てみたかった」「平服で参加しましょう」と通知がきたが、もうその時には着物をつくっていた」「一年も前から着物をつくっていたし、平服で参加となれば、平服を買う費用がかさむ」「自分で働いたお金でつくった着物、他人に干渉されたくない」と返事がきました。一方平服参加の方は「市民運動に少しでも協力したいから」「着物は何も成人式で着なくても、学校でのお茶やお花の会で着れるから」「親からつくってもらうのは自分の自主性がなくなる」「着物をつくるより他のものにお金を有意義に使いたい」「親に負担をかけたくなかった」などそれぞれの意見を出してくれました。

ともあれ、これまでの成人式で



会場は若者の熱気でムンムン

の平服参加はわずか十人以内だったのが、今回平服参加が半数近くに達したのは市民が新生活の簡素

「平服参加」も新生活の簡素化運動の一つです

年々「ハダ」になる私たちの暮らし。阿久根市では、くらしの中

から「ムリ」「ムダ」を省き、慣習や世間体にとだわらないようにと昭和五十八年の一月から新生活の簡素化運動をスタートさせました。

運動の主なものでは、結婚式でのお祝金を六千円以内、披露宴料理五千円以内、新築、進水、開店祝の祝金、料理五千円以内、出産祝い見舞い二千円以内など、協議会では、各戸にチラシを配布したり、広報で市民に協力を呼びかけるなど、運動を進めてきました。「成人式の平服参加」もこの運動の一つ。これまでの成人式は、平服参加を呼びかけていたにもかかわらず女子はほとんどが晴れ着。市が主催する成人式は「ムリ」をせず「平服でみんな平等に祝ってやろう」というのが大きなねらいなのでした。

協議会では、「成人式の平服参加」を推進するため、各校区の自治公民館長研修会等で運動の協力を依頼。七月には市側と西工業者との話し合いもたれ、西工業者からは「成人式の晴れ着は、日本

化運動に理解を示していただいたものとして評価できると思います。

伝統の民族衣装です。参加者の自由にはまかせざるべきだ。また新生活の簡素化運動は西工業者の生活をおびやかす」と。この運動の撤回を求めましたが、市側は「市民運動なので推進協議会に賛同して進めていく」と回答。ホツトな論議が展開されました。協議会では九月に入ると成人該当者五百八十人に「昭和五十九年度から成人式は男女共平服となります。当日は全員平服で参加ください」と市民運動への協力参加のハガキを送り、努力をお願い。これに対して西工業者所商工委員会も二回にわたり「一生に一度の精養は日本の伝統

的民族衣装のきもの姿に誇りをもって参加しましょう」と独自のハガキを出し、成人式の平服問題はマスコミで大きく取りあげられ、市民の間で論議のタネとなり、今年成人式に関心が集まっています。

市民の声にこたえるために平服参加の成人式にしたい

各方面で多くの論議があった成人式の平服参加ですが、今回参加者の約半数が平服であったことは、市民にこの運動が理解された

431人大人の仲間入り

記念撮影などで祝う

成人式

阿久根市の成人式は、一月五日市民会館ホールで行われ、男子百九十九人、女子二百三十二人の計四百三十一人が出席し、記念式典や講演、記念撮影などの催しが行われ、晴れて大人の仲間入りした若者を祝福しました。

として大人の仲間入りを機会に、自分自身の判断と責任ある行動を取り、思いやりのある生活をしてほしい」と激励しました。

式典では川畑市長が「皆さんは、この両親の暖かい愛情で育てられたわけですが、新成人

さん、父の能力の十分の一の仕事しかできず、自分ながら恥かしい、仕事にも社会奉仕にも意欲を燃やして、また、今後は一日一歩でも精

進することを身につけたい」と感想を発表。

このあと、木戸孝さんによる「新成人に期待する」と題した講演も行われ、若者たちも熱心に耳を傾けていました。

式典のあとは、市民体育館で各校区ごとの記念撮影、友だちと再会を喜びながら写真に納まっています。

また、成人を祝い市から全成人者に「成年時代」の本が、成人者からは、五色紙に完成する「青年の家」の前庭に碑文を入れた記念碑を贈ることになっています。

「辺地総合整備計画」

いよいよスタート

古里松ヶ根線の 改良工事から



改良が始まった古里松ヶ根線（松ヶ根区内）

市街地から離れた地域を総合的に整備し、住みよい地域にするため、阿久根市では、昨年「阿久根市内辺地総合整備計画」を定め、六月の議会で議決を得て国に認可申請をいたしました。このほど認可もおり、いよいよ「辺地総合整備計画」がスタート。昭和五十八年度初めての事業として、松ヶ根北部辺地の古里区と松ヶ根区を結ぶ

道路の改良工事が始まりました。「阿久根市内辺地総合整備計画」は、市内の松本北部（八郷・小雄・松ヶ根・笠山・大洲川）、田代（尾原・米次）、西目東（落・本之牟礼）の三か所の辺地を、昭和五十八年度から六十二年までの五カ年間に約四億一千万円を投入して道路の改良や舗装、飲用水施設、山村開発センター等を建設しようとする

すものです。（各辺地の整備計画は広報あくね88号に詳しく掲載しております）

辺地整備事業で改良工事が始まった古里松ヶ根線は、古里区の村中から松ヶ根区の公民館までを結ぶ約三・四・の市道で区民にとっては唯一の生活道路。これまで簡易舗装が完成していましたが、最近道路の傷みもひどく、また道幅も狭くカーブが多いため、車の離合にも不便をきたしていました。

事業費

四千八百万円
五百円を整備

今回整備するのは、この路線の笠山入口のところから松ヶ根公民館前までの延長五百二十円。カーブを削り、見通しを良くするほか、道路の山手側（笠山より）には全

線にわたり側溝をつけ、排水に万全を期すものです。

道幅も平均四・五に拡張します。総事業費は四千八百万円。昨年の十二月着工し、三月末の完成をめざします。

松ヶ根地区は、畜産や園芸を中心とした農業が盛まれ、最近は大規模車の出入りも多く、この道路の改良は地区民からの水年の要望であっただけに完成が待たれます。なお来年度からこの地区を含め田代、西目東の地区の整備も本格的に事業が始まります。

辺地総合整備計画

市街地から遠く離れて、経済的にも文化的にも遅れている地域の道路や飲用水供給施設、農山村施設などの公共施設を総合的に整備するため、国が特別に財政的

に援助し、この地域住民の生活水準と活性化を図るために設けた制度。阿久根市も市内三地区を指定し、五十八年度から六十二年度まで五カ年間に約四億一千万円を投入して整備する「阿久根市内辺地総合整備計画」を策定し、事業を進めています。

消防ミニニュース

（一月分）
一月の火災発生数 0
救急車出動回数 51

ありがとうございました

百二十万円の募金

ねたきりのお年寄りなど
388人に配分

歳末たすけあい運動

「みんなそろって明るいお正月を」。昭和五十八年歳末たすけあい運動は、市民の衝動や、区長、民生委員、婦人会をはじめ篤志家の方々のご協力により、百三十万四千円の寄附金が集まりました。

この善意は、別表のようにねたきりのお年寄りをはじめ、市内三百八十八人の方にお金を贈り喜びました。

ご協力ありがとうございました。

昭和五十九年

出初め式表彰者

- 消防庁長官表彰(伝達)
- 消防団員退職褒賞銀杯伝達者
- 彼留学 松下直美 外戸口利男
- 日本消防協会表彰(伝達)
- 〇勤続章、精進章 神之田月教
- 〇勤続章、神之田月教
- 〇功績章、勤続章 田島貞夫 花田銀市
- 〇精進章 田中高徳 宮田嘉和
- 〇勤続章 奥平勝美 川畑敬一
- 花田岩美 花木嘉一郎 山口和男
- 牟田徹夫 尾崎徹 谷口克男 鶴田孝治 中尾三郎 島久
- 〇優良団員 角秀吉 宮内清一
- 〇優良団員 牛之浜一男 川畑敬一

- 花木嘉一郎 花田岩美 尾崎徹
- 鶴田孝治 中尾三郎 島久
- 〇永年勤続表彰
- 新留秀雄 水田耕造 前田勲
- 市長表彰
- 〇優良分団 大川 多田 桑原城
- 折口 山下
- 〇優秀分団 桑原城
- 〇幹部退団者感謝状
- 彼留学
- 〇団長表彰
- 〇十年勤続 田上洋 妹尾英機

昭和58年度 歳末たすけあい運動結果

収入(募金)		(単位円)	
区分	金額	備考	
一般寄附	439,000	区長募金分	
篤志寄附	865,216	民生委員募金及篤志家寄附	
前年度繰越金	38,844		
計	1,343,060		

支出(配分)		
区分	金額	備考
ねたきり老人介護者	417,500	167人
一般生活困窮者	462,000	132人
遺児	88,000	16人
父子世帯	92,000	1人-12人, 2人以上-16人
住宅置障児者	121,000	22人
車椅子生活者	42,000	12人
長期療養者	12,000	6人
就業作業所	25,000	5人
事務費	26,270	
合計	1,285,770	

収入1,343,060円-支出1,285,770円=57,290円...次年度繰越

「これでテレビが楽しめる」

黒之上区に共同受信施設



完成した共同アンテナと喜びの小田区長

これまで、熊本県のテレビしか映らなかった、市内黒之上区に、テレビの共同受信施設が完成。地区民は「鮮明な画像でテレビが見れる」と喜んでいきます。

この施設は、市が総事業費七百七十万円(地元負担百六十万円、残り国、県補助)で、昨年の十二月から工事に着手していたもので一月十九日完成しました。

黒之上区のごま山頂上に共同受信施設を設置、ここからケーブルで地区内五十六戸の家々を結び、電波が流れます。

いまでは、県内で放送される、五つのテレビが全部見えます。

誕生

おめでと



- | | | |
|-------|----------|----|
| 出生児 | 保護者 | 区名 |
| 山田 健二 | 壯二郎(段) | |
| 浜辺 徳男 | 光徳(高松) | |
| 松下 伸也 | 直美(大林) | |
| 丸尾かおり | 若夫(段) | |
| 福水みゆき | 幸男(波留) | |
| 小原 愛 | 重古(波留) | |
| 末古 裕美 | 真典(遠矢) | |
| 小野めぐみ | 務(大尾) | |
| 堀口 将吾 | 幸紀(高松) | |
| 寺地 寛 | 寿美(尻無下) | |
| 中園 朋之 | 和之(横手) | |
| 奥園 純子 | 文雄(牧内) | |
| 若松 里美 | 美都志(尻無中) | |
| 大谷 勝広 | 勝(下村) | |
| 田原 朱以 | 辰男(瀬之上) | |
| 上鶴 志穂 | 剛志(脇馬場) | |
| 島中あずさ | 清昭(黒之浜) | |
| 堂後 真代 | 直(桐野下) | |
| 平瀬 貴康 | 美広(脇本浜) | |
| 前田 大輔 | 充(古里) | |
| 倉津 成仁 | 信義(倉津) | |
| 岩崎 麻耶 | 正文(高松) | |
| 赤崎ますみ | 謙信(高之口) | |
| 大重 貴洋 | 弘靖(波留) | |





無病息災を願って鬼火たき
(市内でのスナップ)

所得税の確定 申告が始まります

2月16日から3月15日まで

昭和五十八年分の所得税の確定申告は二月十六日(木)から受け付けが始まります。

所得税の確定申告は、住民税、事業税の申告も兼ねていきますので、所得税の申告をされる方は、住民税、事業税の申告を併にする必要はありません。

所得税は、個人が一月一日から十二月三十一日までの一年間の所得にかかる税金で、次のような人は、税務署から申告書の送付がなくても、申告をしなければなりません。

○商売、農業をしている人や、家賃、地代の収入のある人
○土地や建物を売った人などで、所得の合計額が基礎控除や扶養控除などの所得控除の合計額を超える人。

○給与所得者で①給与の年収が一千万円を超える人の給与以外の所得が二十万円を超える人②か所

所得税(住民税)納税相談

(阿久根市分)

2月27日から
3月5日まで

場所 阿久根市役所



以上から給与を受けている人

申告と納税の期限は、三月十五日(木)までとなっておりますが、期限間近になると大変混雑しますので、早めに申告し、期限内に納税も済ませましょう。

申告や納税が期限を過ぎますと、加算税や延滞税など余分な税金を納めなくてはなりません。

確定申告のことについては出水税務署(0986860200)か、市役所税務課へおたずねください。

固定資産課税

台帳の縦覧を

三月一日から二十一日まで

昭和五十九年度の固定資産課税台帳の縦覧を三月一日(木)から二十一日(水)まで、土曜日の午後と日曜を除き、市役所税務課で実施します。

この機会に、自分の固定資産税がどのようにして課税されているのか、確かめておかれるよう、おすすめします。

また、本人以外の台帳を縦覧される方は、同意書が必要ですが(必ず印かんをこ持参ください)

他市町村に固定資産をお持ちの方は、各々の市町村で縦覧できます。

こめいふくを
お折りします

堀尾 ナツ	87 (黒之浜) 日出男
柏木 古次	90 (上原) 隆
早瀬キクマツ	96 (古里) 重光
植田 米丸	68 (脇馬場) スナ
橋之浦 力	56 (脇馬場) ハツ子
寺下シズエ	70 (橋之東) 登志男
山下 マツ	87 (橋之西) 美好
大連 直義	89 (大連) 憲
山泊 友義	52 (黒之上) 健一
迫口 ソメ	83 (桐野下) 岩男
敷島 春雄	82 (橋之西) 道雄
江口 重任	50 (黒之浜) 照子
田畑ナツキク	76 (上原) 貞雄
西園 武吉	86 (内田) 久雄
長谷 ノリ	73 (長谷) 敏
本蔵ニワノ	57 (浦) 勝己
松原ハツエ	73 (上野) 三福正昭
牛之浜イサ	80 (牛之浜) 明美
浜崎ハルエ	71 (佐海) 憲男
新町 セム	77 (新町) 法利
東新 休助	78 (牟田) キミエ
田中 ツキ	87 (東牧内) 實公
島中 徹	62 (連矢) エリ子
中山 昇	80 (高松) 邦夫
臨園 忠吉	78 (上野) ユキノ
若松 利雄	79 (尻無上) スミエ
鶴岡 重造	78 (尻無上) スエノ
西園 徳栄	74 (高之口) キエ
柏木 重志	73 (浦) スミエ
御手洗芳太郎	90 (段) シゲ
白浜 八重	67 (新町) 信彦



▲「やっと頂上」よかった。
(午前五時四十分)



▲たき火を囲み暖をとる。皆、それぞれに満足感いっぱい。(午前六時)



「頂上まで600人」。休憩では、眠たさと疲労で、みんなグッタリ。
(午前4時40分)

「ねむたさ、つかれと戦い、完歩できた」
阿久根小六年 前田 祥子
阿久根から長尾の行人岳までの二十五、夜間歩行が始まった。静まりかえった夜の道を、みんな歩きスリル感とおししゃべりに、楽しくて心はずんでいた私たちは、脇本を通るころは、「ねむたい」「つかれた」の連発。遠足のときでも、せいせい七、八、ぐらしか歩いたことのない私たちに、夜中の二十六、はともつらかった。しかし、まだ夜の明けない五時半ごろ、やっと行人岳に着いたときは、思わず「やったあ」とさけび、くすめるように座りこんだ。完歩賞の銀メダルをもらったときの喜び、生まれて初めて歩いた二十六、ねむたさ、寒さ、つかれと戦いながら完歩できた喜び、私の根性をためして、小学校時代のいい思い出が出来た。

「つかれたけどよい思い出」
折多小六年 大下 義和
一月十四日夜、阿久根の熊野広場から行人岳まで歩いた。市内の小学校から、大勢来ていた。出発は十時三十分ごろだった。黒の瀬戸大橋の所では、足がつかれてきた。まだ約半分ぐらいの道のりとのこと。橋の下はものすごい風だった。休けいをした後すぐ歩き始めた。木々が多くて暗い所もあったが川床まで来たら、だんだん近くに行人岳が見えてきた。短い休けいを何度もした後、午前五時四十分ごろ着いた。少し休みたさびで眠まった。閉会式があった時は、つかれてぼくはねむってしまっただ。草の上の霜がとても冷たかった。ぼくはつかれたけれど小学校最後のとてもよい思い出やよい経験になった。今からも何事も最後までがんばろうと思った。



黒之瀬戸休憩所でカライモ、メザシで腹ごしらえ、つかれも少しとれる。(午前2時)



黒之瀬戸大橋を渡る
(午前1時30分)



とわたちの作品
尾崎小学校



図書館だより
今月の新刊

▽悪魔の湖畔(世沢左保著)▽悪
の原生林(勝目梓著)▽蘭の法廷
(西村寿行著)▽新・里見八犬伝
上・下(鎌田敏夫著)▽絶句 上・
下(新井素子著)▽嘘でもいいか
ら(青木雨彦)▽二つの時代
(江草聖子著)▽凡将 山本五十

六(生田寿著)▽日本の名山の八
ヶ岳・御嶽と中央アルプス(第一
アートセンター編)▽世界の脚註
全集(相賀徹夫編)▽日本都
市被災地図(第一復興省資料課編)
▽中国五千年 下(陳舜臣著)▽刺
客(藤沢周平著)▽桜子は帰って



クロガネモチを接ぐ
笹原名人

わたしのお
十八番 ③
接ぎ木

市内藤本樹野下
笹原次助さん(83)

「私が接いだものは、ほとんど、
ま、九五%は接がれます」と語る
笹原さん。接ぎ木の名人として、
区内はもちろん、阿久根市内、野
田、米之津、高尾野町あたりまで
その名は知れています。
自宅の庭にも笹原さんが接いだ
ウメ、モチノ木、フジなどが並ら
んでいます。
二十八歳のころ自分で覚えて、
かれこれ五十年、頼まれて接いだ
ものは数えきれず、また、弟子も
十数人になったとのこと。
接ぎ木の成功のコツについて①
接木穂の丈夫なものを選ぶ②雨の
降らない、おだやかな風のない日
を選ぶ③台木の元気なもの④花の
ついてない種木と、芽のあるもの
⑤時期は二月中旬から三月中旬、
など、また、接いだあとの管理も
大切とのこと。
二月に入り、そろそろ忙がしく
なりそうな笹原さんである。

きたか(麗羅著)▽鬼どもの夜は
深い(三枝和子著)▽渡うつ土地
(高岡多恵子著)▽翡翠色のメッ
セージ(加藤幸子著)▽照灯(佐
々木丸美)▽幽霊愛好会(赤川次
郎著)▽年獄(南条範夫著)▽不
当逮捕(本田清春著)▽真紅のパ
ラを37本(高橋穂世著)

第2回働く婦人の家まつり

とき 3月10日(土)と11日(日) 10:00~16:00
(11日は15:00)

ところ 阿久根市働く婦人の家

内容 各講座生、育成グループ、自主グループ
の発表や作品展示、10日は「現代女性の
生き方」についての講演会もあります。

社会教育大会表彰者
一月二十八日、市民会館

▽優良子ども団体
大川覚鐘子ども会

▽善行生徒
三笠中一年迫口剛、松下英二

▽社会教育功労者
個人 石沢正徳 下園隆
団体 丸内公民館

(花だんコンクールの表彰団体
は、広報十一月号に掲載済みです
ので、省きました)

サークル紹介 ④

八重グループ



生花の第一特色は「一和」を願う心です。初めは仏に供えるために使われた花でしたがのちには花によせて平和な生活を考えるようになり「八重グループ」の私たちは昭和五十七年十一月十七日に開講式を迎えまして、五十八

年三月九日にグループ十八人が講堂を修了することが出来ました。それから後も現在十一人が川崎八重先生の指導のもとに月二回けいこをしております。年齢は三十代から六十代位までです。お花は当番を決めて整理整頓は忘れなくその日の記録をして帰ります。お花はお生花、盛花の基本、季節の花を主体とした斜線の花形、現代の花形を染しんで「働く婦人の家」でけいこをしております。

阿久根歌壇

(特選)

山峽の道をくだれば入江見ゆ暮き
小穂わが母の里

川畑 スミ

(評) 三句切れで詠嘆が生きた。
更に四句五句とたたみ込むように歌って語気に響きがある。

葦原に鳴きあふる鶯の低き声眺聞の
なかに畑こゆる

深瀬 紀夫

しはぶきは父に似たるか弟の泊り
し夜半に驚きて醒む

横崎 幸

折田憲司選

落人の里八百年を経て親し維業山
なみ秋目に眠る

河南 節子

投稿希望者は宮製ハガキに三首
以内 阿久根市本町一三〇番地

折田憲司宛

あくねのみんわ ②⑤



阿久根の化猫

のぞくと、この宿の太くてたくましい飼いの猫が魚をくわえて出るところでした。

鹿兒島のある商人が、阿久根の旅館に泊まったときのことである。この宿は安くて新しい魚を客に出してもなしていたが、いつものように、台所の戸棚に入れておいた魚が、翌朝一匹も残らずなくなっていました。

魚をくわえて外へ出ていった大猫は、しばらくすると、阿くわぬ顔をして、帰ってくるや、いろいろの脇へ来て眠ってしまいました。亭主がまた、おかみを叱っているのを聞いた商人は、今朝見たことの一部始終を語り、寝をべっている猫を指さして「犯人はそら、その飼いの猫ですよ」といった。

不思議に思いつながら、夕方に又入られておいたが、これも翌朝になって見るとなくなっていました。



亭主も、おかみもあきれていたが、驚いたのは指さされた猫である、急に起きあがり、目をらんらんと光らせて、商人をぐつとにらむと、一目散に戸外へ飛び出して行った。その夜商人は復讐を恐れて屏風の後にかくれていると、夜中に商人の床に近

このことで、亭主が寝を立て、おかみを叱っているのを聞いた商人は、おかしなところもあるものだと思っていました。

よった大猫は商人が寝ているものと思ひ喉元めがけて咬みつきました。商人はあまりのすさまじさに身ふるいしたということです。

大川の兔田地区で二月二十三日、四十年ぶりに「二十三夜講」が復活。お年寄り子どもたちが生トウフを食べながら、昔話しに花をさかせ、ふれ合いを深めました。

二十三夜講は戦前、物資の不足しているころ、子どもたちが当時貴重な食べ物だったトウフ一丁をお母さんからもらい、一月二十三日公民館に集まり、子ども会の方針などを決めるため行っていたもので、昭和十八年ごろからあととだえていました。



40年ぶり「23夜講」

うさぎだ
— 大川兔田地区 —

声もかれて「麦ほめ」

— 倉津地区 —



市内の倉津地区で一月十四日、豊作と大熱を願い「麦ほめ」の行事が行われ、子どもたちが元気に「〇〇さんのタイ釣いや、よかタイ釣い、釣いさえすれば金千貫千貫」などと、一軒一軒ほめて回りまわした。

お年寄りで

「文化財展」

250点集まり大盛況

…上原老人クラブ

市内上原区の上原老人クラブ（双津喜六会長）が中心となって、区内に残る民具や文化財を集めた「文化財」が一月七日、区の公民館で行われ、区民や子どもたちがつめかけ、大盛況でした。

「区内に埋れている民具や骨とう品などを見直し、お年寄りにはなつかしく、子どもたちには昔の生活様式を知ってもらおう」と、お年寄りたちが七カ月前から準備し、各戸にお願ひして集めたもの



お年寄りによる「文化財展」

青年海外協力隊員に

隈元さん（折口東）

ホンジュラスで音楽の指導



五十八年度第三次青年海外協力隊員として、市内折口東の隈元和

子さん（〇）が選ばれ、このほど派遣先の中米のホンジュラスへ向けて出発しました。

隈元さんは県内の短期大学を卒業後、音楽の先生として県内の中学校で勤務していました。

ホンジュラスでは、国に一つしかない国立大学でピアノと合唱の指導にあたることになっており「自分の持っている技術を少しでも役立てたい」と抱負を述べてくださいました。な担任は二か年。

で、公民館には江戸時代使われていた銅鑪をはじめ、鉄臼存力ギ、火ばち、キセル、トンコツ、ラジオ、あんどん、竹だるなど二百五十点が展示され、一品ごとに所有者と使い方などの説明書がついており、子どもたちも「こんなので生活していたの」と、昔の民具にびっくりしていました。

たばこは
市内のお店で
買いましょう

たばこ消費税として約一億円ほどが、阿久根市に交付され、市の貴重な財源となっています。たばこをお買いになるときは、市内のお店で買いましょう。

市内西目飛松

柳盛蔵さん(65)



市民のひろば

皆さんの周りで起きたニュース、話題など、なんでも結構です。広報係へお寄せください。

☎ 1211内214

職員と生徒で手造りの「弓道場」が完成

— 大川中学校 —



完成した射場で礼射する部員

市内大川の大川中学校（富山貞雄校長）で、職員と生徒が力を合わせて、自前の弓道場を造りあげました。

同校の弓道部の練習場は、旧校舎の東側空き地。射場には屋根がなく、職員が「屋根付きの弓道場を造ってあげよう」と計画。折檻勇先生が間伐材の丸太を提供、生徒と職員が眼を見て皮をはいたり、切り込みを入れ、十二月中旬から組み立て、丸太を針金でくくったり、ビニールを打ちつけ、約一週

間で完成しました。三間、二間の六坪の広さで「的心館」と命名。

弓道場開きには部員や地区民多数が出席し、ひととりの儀式のあと、弓道部員が礼射して完成を祝いました。

同校弓道部は、藤原孝司顧問の指導でメキメキ腕を上げ、地区大会や県内大会では常に上位に入賞。昨年は全九州中学校大会でも優勝



花田岩美さん(41)

わたしの お父さん①

大川仲仁田区
花田 直美

「ガタンガタン」この音が聞こえると、弟たちは玄関へ走る。

父が帰ってきた合図だ。「ただいま」

玄関を開けて入ってくる。洗たくした仕事着が、まっ黒くよごれている。

私は、父が仕事をしているところを見たことはない。でも、父のグロリアのような手を見る

と、だいたい想像ができる。

私はこんなによく働くお父さんが大好きです。

いつまでも、元気に働いてください。

ハイ！元気だよ！



としのり
桑原聡文ちゃん(2歳6ヵ月)
市内新町 桑原正純さんの長男

同じく
米次毅樹ちゃん(2歳3ヵ月)
米次勝美さんの長男

元旦に水しぶき 水泳協会泳ぎ始め 1月1日



一月二十二日の県の中学新人戦弓道大会でも優勝しました。

子どもたちも「雨を気にせず練習に励める」と大喜び、地区民も「次は全国優勝を」と期待しています。

むかしの子どもの遊び

ちんばた(石けり)

⑧



庭にいろいろな線を引いてそのわくの中にある相手の石を、片足でわくの外にけって出し、自分の石を次のわくに入れて進みます。

早く進んだ人が勝ちとなりますが、からぶりしたり、自分のわくの外に出たり、両足をのけたり、足をかえたりしてはいけません。

ける石は瓦のかげらで、角をすりつぶして丸くし、けりやすく使います。

お知らせ



行事催し物など
ごしとお寄せください ③ 1211内214

市営住宅の 入居者を募集

申し込みは三月十日まで

市では、折口に建設中の住宅の入居者を募集します。

申し込みは三月十日までとなっています。入居希望の方は市役所都市計画課に問い合わせのうえ申し込みください。

三月一日から二十一日まで

市内赤瀬川堤上に建設中の県営住宅が近日中に完成します。

県では、次のとおり入居希望者の募集を行っています。

計量器の検査を

3月7日から14日まで

計量法に基づく計量器の定期検査が次のとおり実施されます。計量器をお持ちの方は必ず検査を受けてください。

- 三月七日 大川出張所 10時、14時 農協牛之浜支所 14時30分、15時30分
- 三月八日 高之口公民館 10時

- 三月九日 三笠町農協集荷場 11時30分、三笠町農協集荷場 13時、15時
- 三月十二日から十四日まで 市民会館で10時から15時、14日は14時まで行います。

昭和五十九年三月一日から二十一日まで。

平日、午前八時半から午後五時、土曜日、午前八時半から正午まで。

▽受け付け場所

出水土木事務所総務課

(出水市昭和町十八、十八、県合庁内4階)

又は、阿久根市役所都市計画課まで。

▽抽せん

昭和五十九年三月二十六日(月)午後二時、阿久根市役所大会議室(二階)

▽家賃 二万二千元(ほかに共益費約三千元が必要)

詳しいことについては、市の都市計画課建築係③1211内142へ。

初級手話奉仕員養成講習会案内



とき 四月十一日(水) 開講

毎週水曜日午後七時～九時

場所 阿久根市中央公民館

※市福祉事務所老人障害係(内線413)へ、三月末までに申込んでください。申込用紙は同係に準備してあります(定員三十人)

不用犬引き取り

二月二十八日 午前十時～十時半 場所 保健センター



道は氣力と根性で、フラフラしながら頂上にたどりついた。歩くことがこんなにも苦しいものとは！(初めての経験)

しかし、体力づくりと人生のよき思い出ができた。

そこで、今月号は歩行大会を写真特集しました。『感想』「子どもたちは本当に元気ですね」参加された皆さん、おつかれさま。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

宮本初男(湯) 湯屋天男(同)

木口和幸(深田) 寺地隆義(沢無中)

福岡長兵衛(新町) 白濱信彦(同)

牛浜繁信(牛之浜) 牛ノ浜明美(同)

田嶋成哲(折口東) 西岡久雄(内田)

東新キミエ(牟田) 飯塚實治(上野)

藤園ユキノ(同) 濱崎憲男(佐瀨)

島中義(遠矢) 若松スミエ(表川内)

▽歳末たすけあい募金 立正佼成会 阿久根市役所・市職員一同 農業委員会職員一同

▽篤志寄付 陸上自衛隊員人会 東洋ハウス柳社長 諏訪早美様

▽広報紙送付お礼 福岡県大牟田市にお住いの大瀧恭一様から、広報送付のお礼にご寄付をいただきました。

給油所の 日曜当番店

二月十九日 阿久根市農協(折多と渡留)

二十六日 折口石油(折口)

三月四日 田野興産(阿久根)

三月十一日 築瀬石油(阿久根)

昭和五十九年二月 日 鹿兒島県阿久根市役所編集発行